

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	瀬戸内四都市広域観光推進事業		担当部署	経済建設部 経済局 観光振興課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	瀬戸内四都市広域観光推進事業		
基本政策(大項目)	4	活力とにぎわいあふれる鳴門づくり		事業期間	開始	平成 16 年度
政策(中項目)	2	観光発信！魅力都市なると				
(小項目)		観光				
施策	01	観光・交流のまちづくり				
基本事業	3	観光情報の発信強化	終期			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 観光客														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	神戸市、倉敷市、琴平町、鳴門市の四都市が手を結び、魅力ある広域の周遊ルートを設定し、外国人観光客や全国からの観光客を対象とした、共同による広域観光誘致事業を実施し、圏域への観光客の誘致を図る。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光入込客数</td> <td>2,200,000</td> <td>2,250,000</td> <td>2,300,000</td> <td>2,350,000</td> <td>2,400,000</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位	観光入込客数	2,200,000	2,250,000	2,300,000	2,350,000	2,400,000	人
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位										
観光入込客数	2,200,000	2,250,000	2,300,000	2,350,000	2,400,000	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	四都市それぞれの特色ある建築物にスポットを当て、観光資源としてPRを行う「瀬戸内四都市アーキウォークプロジェクト」として、チラシ・ガイドブックの作成やプロモーション活動を行った。観光キャンペーンについては、瀬戸大橋・明石大橋の2橋を利用する四都市周遊ルートへ誘致するため、九州圏における観光キャンペーンを行った。																																			
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>22年度実績</th> <th>23年度実績</th> <th>24年度目標</th> <th>25年度目標</th> <th>26年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標 実施した事業の活動量を示す指標</td> <td>1 観光キャンペーン等実施事業数</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標</td> <td>観光入込客数</td> <td>2,222,417</td> <td>2,151,722</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td></td> <td>95.6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位	活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 観光キャンペーン等実施事業数	4	2	3	3	数		2						成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	観光入込客数	2,222,417	2,151,722	—	—	人		目標達成率(実績/目標)		95.6	—	—	%
指標名	22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位																															
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 観光キャンペーン等実施事業数	4	2	3	3	数																															
	2																																				
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	観光入込客数	2,222,417	2,151,722	—	—	人																															
	目標達成率(実績/目標)		95.6	—	—	%																															

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	1,024	1,007	1,033	1,033	1,033	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
一般財源	1,024	1,007	1,033	1,033	1,033			
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,629	1,629	1,629	1,629	1,629	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		2,653	2,636	2,662	2,662	2,662	千円	

【事務事業名：瀬戸内四都市広域観光推進事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	インバウンド促進事業として、外国語対応の瀬戸内四都市周遊観光パンフレットを作成し、観光PRを行うとともに、平成25年度「ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業」の実施に向けた調査・検討を行う。 また、昨年度より実施している「アーキウォークプロジェクト」として引き続き情報発信していくとともに、九州圏における観光キャンペーンを継続して行う。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	鳴門市の観光資源だけでなく、神戸市・倉敷市・琴平町と連携することにより、観光客にとってより魅力的な観光ルートを提供できる。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 観光・交流のまちづくり の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	国内の観光客誘致だけでなく、四都市で「ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業」に取り組むことができ、インバウンド(外国人観光客誘致)事業の促進にもつながる。
<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。			
<input type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
/10			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	四都市の幹事市が毎年変わることに伴い、個別事業での効果はあっても、テーマのある一貫した取り組みに欠けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ ▼			
	どのように改革するのか				